



会社説明会および 2006年10月期決算説明会資料

2007年1月11日

株式会社 ミロク
(証券コード 7983)

目次

I. 会社紹介	・・・	p.2
II. 2006年10月期連結決算	・・・	p.14
III.2007年10月期連結業績予想	・・・	p.24
IV.今期の重点課題と当社の取組み	・・・	p.29

—本格的な成長ステージへの移行を目指して—

I. 会社紹介

会社情報

- 社 名 株式会社ミロク(大証2部上場)
- 代 表 者 代表取締役社長 弥勒 美彦
- 創業/設立 1893年2月/1946年7月(2003年5月 持株会社体制移行)
- 資 本 金 863百万円(発行済株式総数 15,027千株 2006年10月31日現在)
- 連結業績(2006年10月期)
 - 売上高 15,067百万円
 - 経常利益 1,398百万円
 - 当期利益 874百万円
- 連結の範囲 連結子会社7社 持分法適用関連会社5社
- 事業内容 各種猟銃の製造販売
工作機械・ツール(工具)などの製造販売
自動車用ハンドルの製造販売など

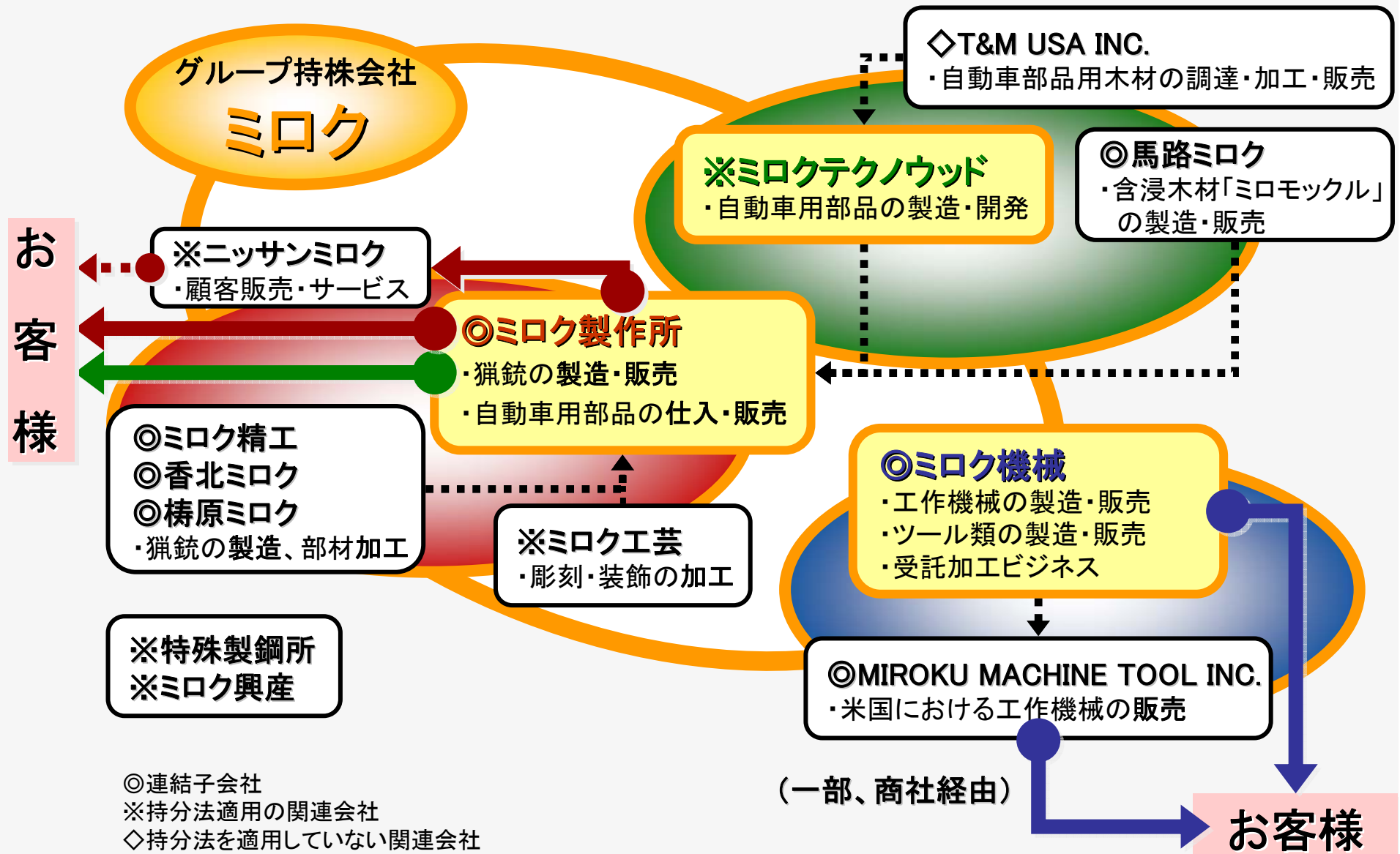
HONESTY

正直でなければつukれない。

誠実でなければつukる資格がない。

- モノづくりに正直であること。 ……モノづくりに込める匠の技と心
- 技術に正直であること。 ……常に最良をめざす一途な探究心
- お客様に正直であること。 ……お客様の声に真摯に耳を傾けること

MIROKUグループ



◎連結子会社
 ※持分法適用の関連会社
 ◇持分法を適用していない関連会社

①-1: 猟銃事業「概要」(What's MIROKU? ①)

■国内NO.1、市場シェア65%超 (2006年1月～11月生産数量ベース)

■「ブローニング」ブランドによるグローバル展開



散弾銃(上下二連銃)



ライフル



①-2: 猟銃事業「MIROKUの猟銃づくり」



木材加工技術 彫刻技術

堅牢な銃床を作る目止め・磨き



猟銃を個性的に飾る彫刻技術

- ・手彫り
- ・エッチング
- ・ローラー彫刻
- ・レーザー彫刻



金属接合技術 金属の精密加工技術

銃身粗磨き・銀ろう付け



熟練技術による仕上げ・調整・仮組み



- ・削り出し
- ・ゼロ嵌合



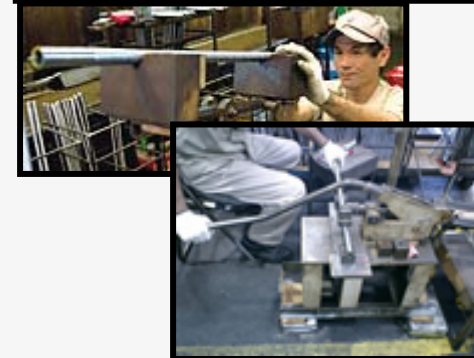
高圧に耐える銃身

深孔加工技術

銃身の孔あけ



熟練技術による曲がり直し

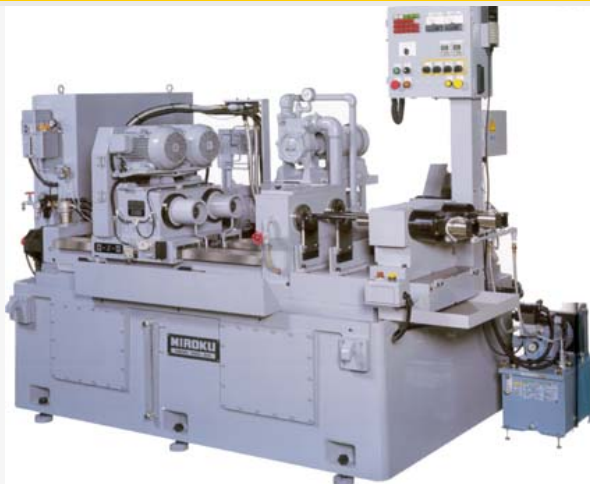


②-1: 工作機械事業「ガンドリルマシン」

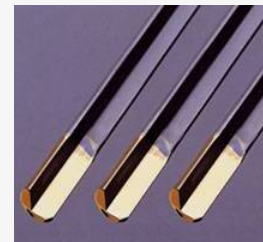
■世界屈指の銃銃づくりの現場から生まれた事業

- 主力製品は銃身加工用深孔加工機「ガンドリルマシン」。
 - ✓主要販売先は自動車関連業界。取引先の60%以上。
 - ✓1976年の1号機以来の販売累積台数は2,300台超(2006/10末現在)。

マシン



ツール



(Tiドリル)



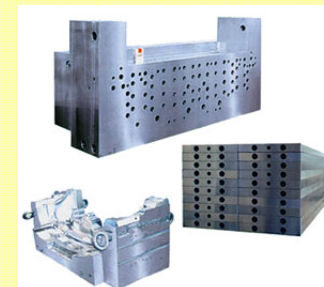
主な用途・加工物

- 各種金型加工(プラスチック金型、ダイカスト金型ほか)
- 丸棒、角材、異形材などの加工(例:丸棒→銃身)
- 各種部品加工(自動車工業、油圧機械工業、航空機工業、電気工業、精密機械工業ほか)

クランクシャフト



マニホールド



②-2: 工作機械事業「ラッピング/ポリッシングマシン」

深孔加工にとどまらない、MIROKUの超精密加工技術

マシン

大型両面ラッピング/ポリッシングマシン(高压型)

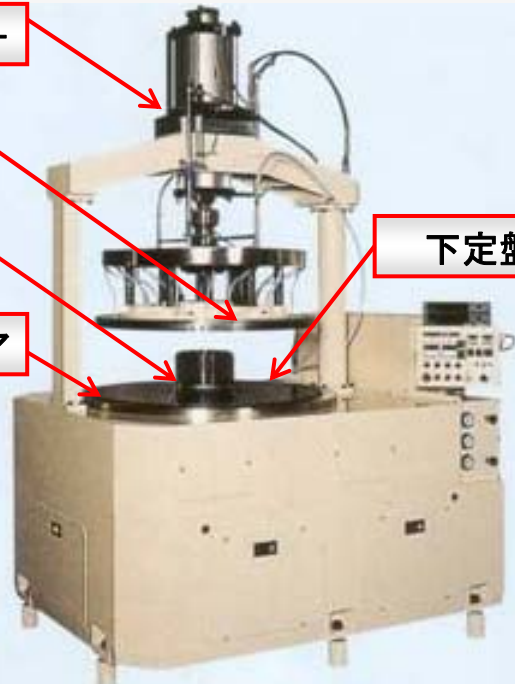
加圧調整シリンダー

上定盤

太陽ギア

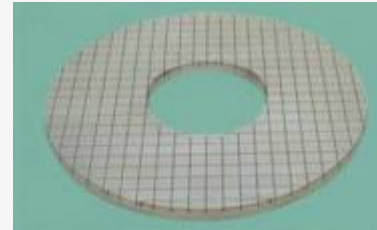
インターナルギア

下定盤



マシン関連製品(消耗品)

両面ラッピング定盤



片面ラッピング定盤



両面修正キャリア



各種キャリア



主な用途・加工物

- シリコンウエハ、アルミディスク、ガラスディスク、フォトマスク
- セラミックス基板、サファイア基板
- 油圧部品、自動車部品、セラミックス、電子部品



③-1:自動車関連事業「概要」

自動車関連事業発展の経緯

- ・1987年・・・銃床端材を使用した小物類の製造。
⇒ドアノブ、宝石箱など。自動車用小物も手掛ける(灰皿受)。
- ・1997年・・・純木製レバースイッチを開発。トヨタ車に採用。
- ・1998年・・・木目調ハンドルがトヨタ車に採用。
- ・1998年・・・純木製ハンドルの技術的課題の検討開始。
- ・2000年・・・純木製ハンドルが北米向けのトヨタ車に採用。

レバースイッチ

(レバーコンビネーションスイッチ)



適用1号車種

プログレ

1997

木目調ハンドル



マークII
コロナ

1998

純木製ハンドル



ウォルナット

アリスト
(現 レクサスGS)

2000. 6



メイプル

ソアラ
(現 レクサスSC)

2000. 11

シフトノブ



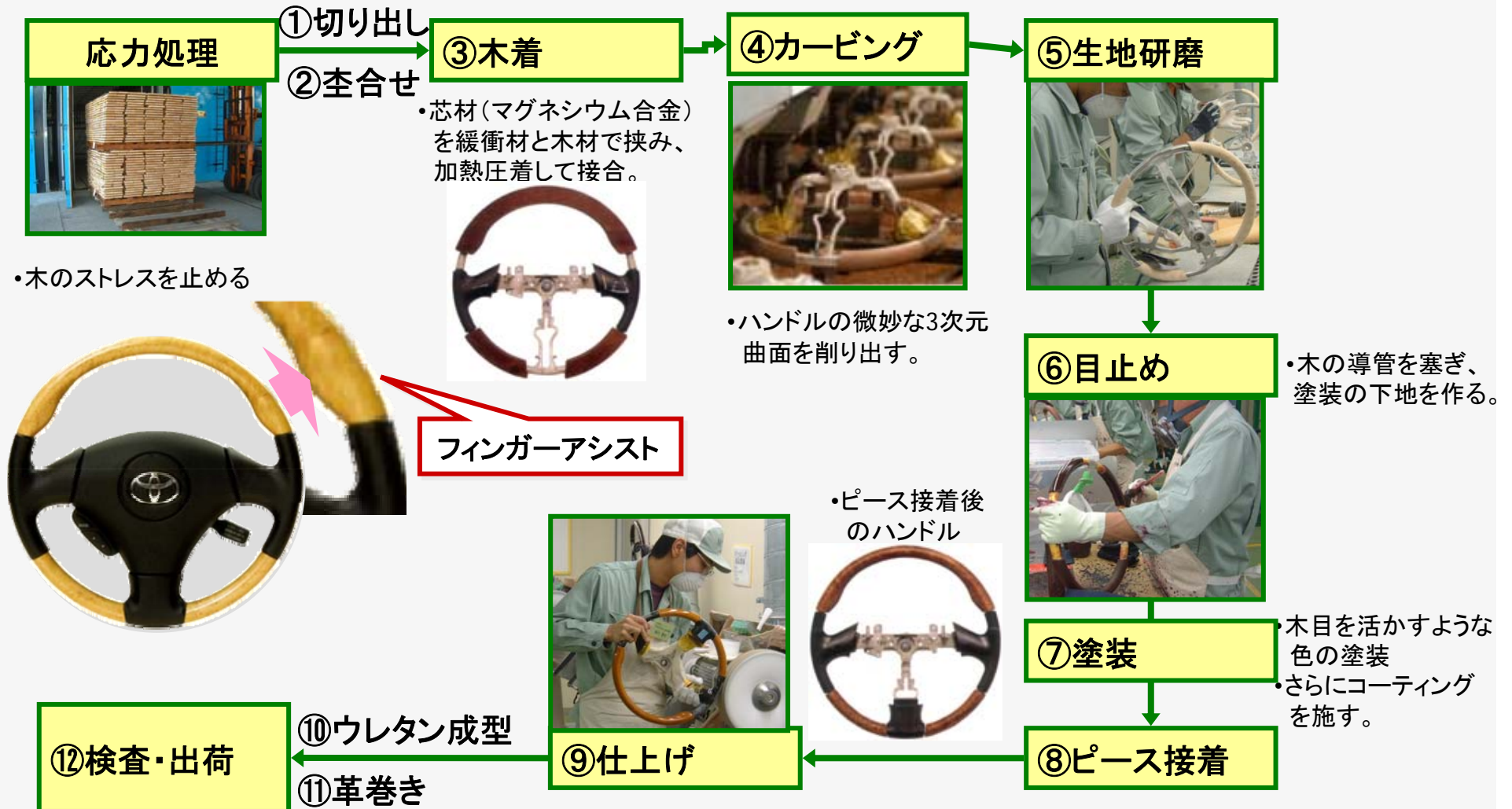
ソアラ
(現 レクサスSC)

2000. 12

③-2:自動車関連事業「純木製」ハンドルの特長

強度と耐久性・美観・フィット感(触感)・コストに優れた逸品

工業製品の代表「自動車」に生かされる「匠の技」の数々



最新の工業“技術”と匠の“技”の融合

高い精度と堅牢さを実現

自然素材へのこだわり(地球環境に配慮)、
“五感”に訴求

II. 2006年10月期連結決算

当期の概況・当期の重点施策

■当期の概況(連結)

- 売上高は増収確保できず微減、経常利益は前年比85%
 - ✓工作機械事業、自動車関連事業はほぼ計画通り。
 - ✓猟銃事業の計画未達が要因、前年実績、計画を下回った。

■当期の重点施策

- 猟銃部門 : 改善活動(MPI-30活動)の強力推進
: 2007年度新製品の立ち上げ準備
- 工作機械部門 : ツールと定盤の能力増強計画の遂行
: 販売促進強化による受注量の拡大
- 自動車関連部門 : 競争力の強化
 - TPS(Toyota Production System)導入とムダの排除
 - 新製品開発力の強化

連結損益(要約)

(百万円、%)

	05/10期 (05年度)	06/10期		06/10期 (事前予想*)
		(06年度)	前年比	
売上高	15,396	15,067	97.9	15,300
猟銃事業	7,796	6,823	87.5	7,160
工作機械事業	3,469	3,824	110.3	3,700
自動車関連事業	4,106	4,437	108.1	4,400
売上総利益	2,967	2,782	93.8	—
営業利益	1,361	1,123	82.5	1,330
経常利益	1,641	1,398	85.2	1,570
当期純利益	1,028	874	85.0	970
EPS(1株当たり当期純利益)	66.11円	60.04円	-6.07円	66.62円

(*)2006年12月12日付で業績予想の修正を発表していますが、上表での事前予想は2006年6月21日の中間決算発表時点での通期業績予想を掲載しています。

事業別セグメント①：猟銃事業

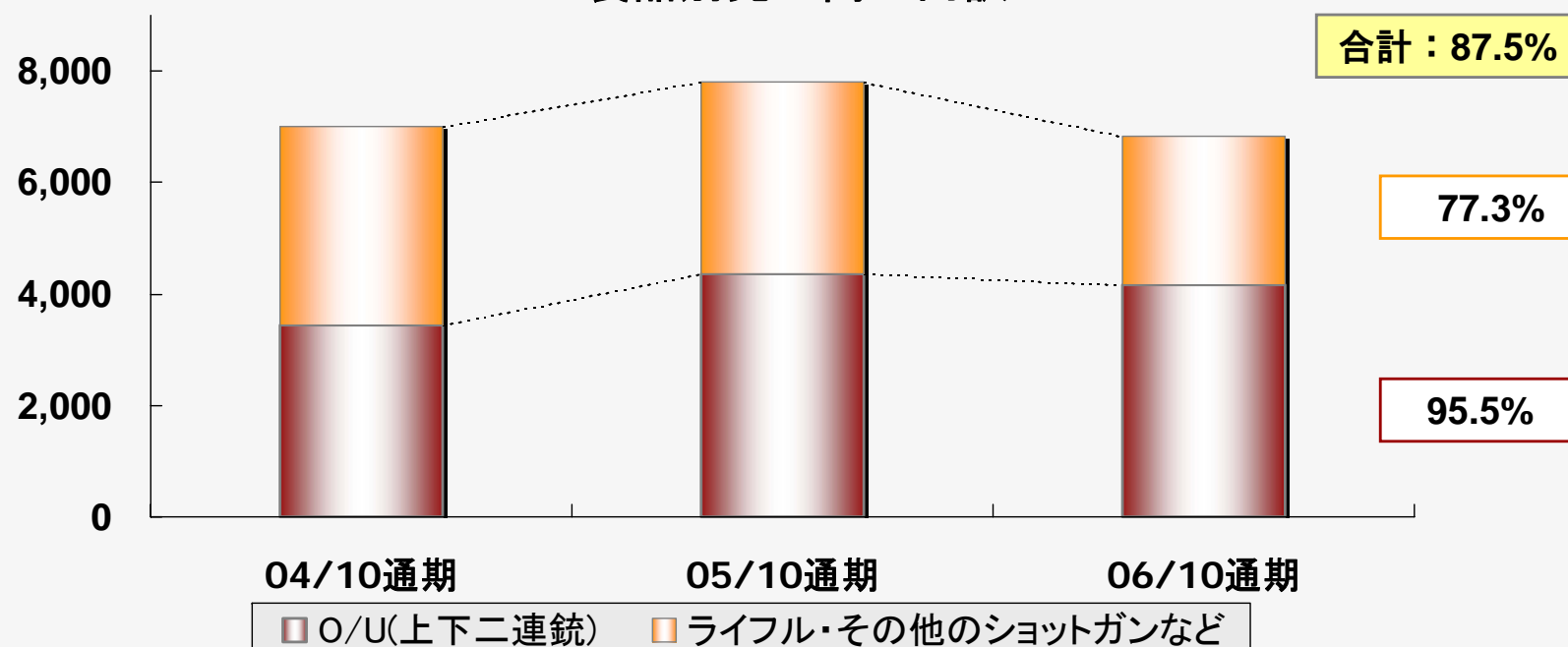
(百万円)

	05/10期 通期	06/10期 通期		内 訳			
				上期(05/11-06/4)		下期(06/5-06/10)	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
売上高	7,796	6,823	▲973	3,517	▲371	3,306	▲602
営業利益	762	439	▲323	315	▲101	124	▲222

(百万円)

製品別売上高の内訳

前年比



事業別セグメント②: 工作機械事業

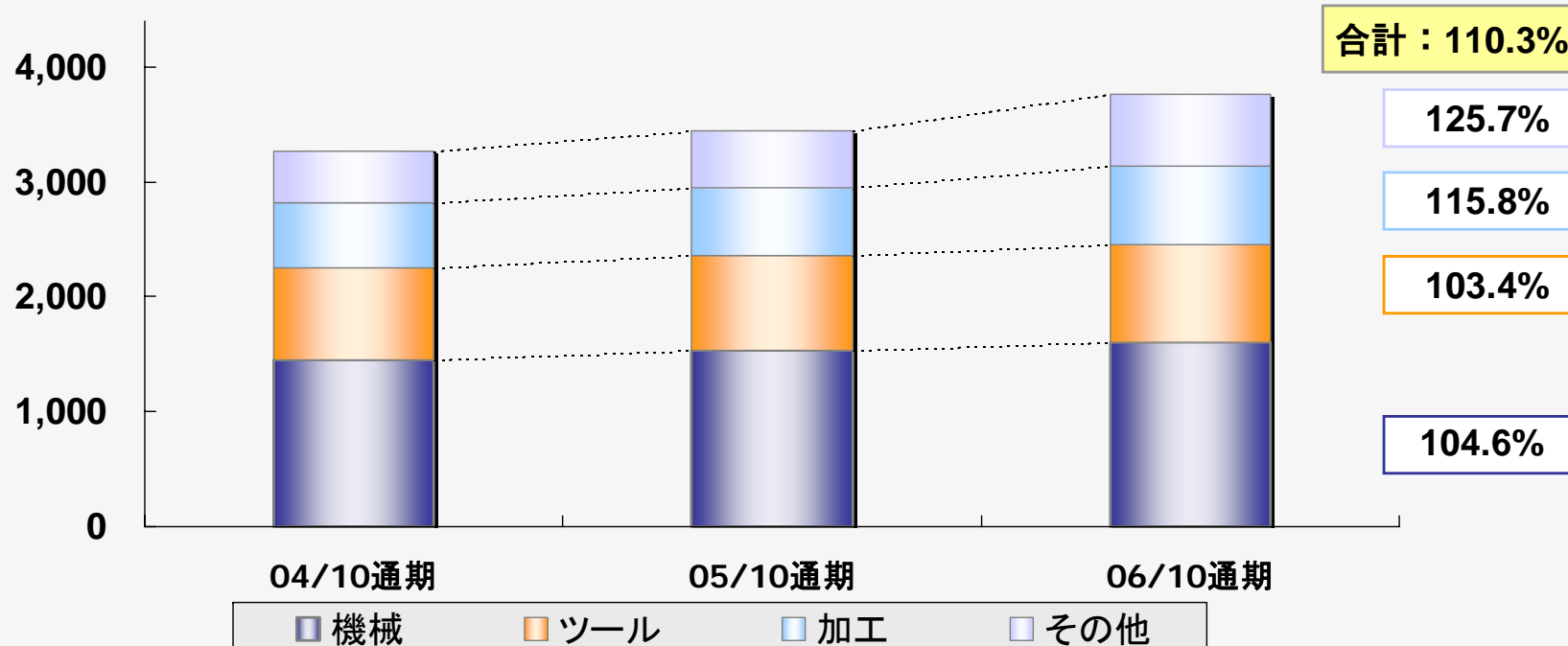
(百万円)

	05/10期 通期	06/10期 通期		内 訳			
				上期(05/11-06/4)		下期(06/5-06/10)	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
売上高	3,469	3,824	+355	1,889	+410	1,935	▲55
営業利益	731	871	+140	471	+231	400	▲91

(百万円)

部門別売上高の内訳

前年比



事業別セグメント③:自動車関連事業

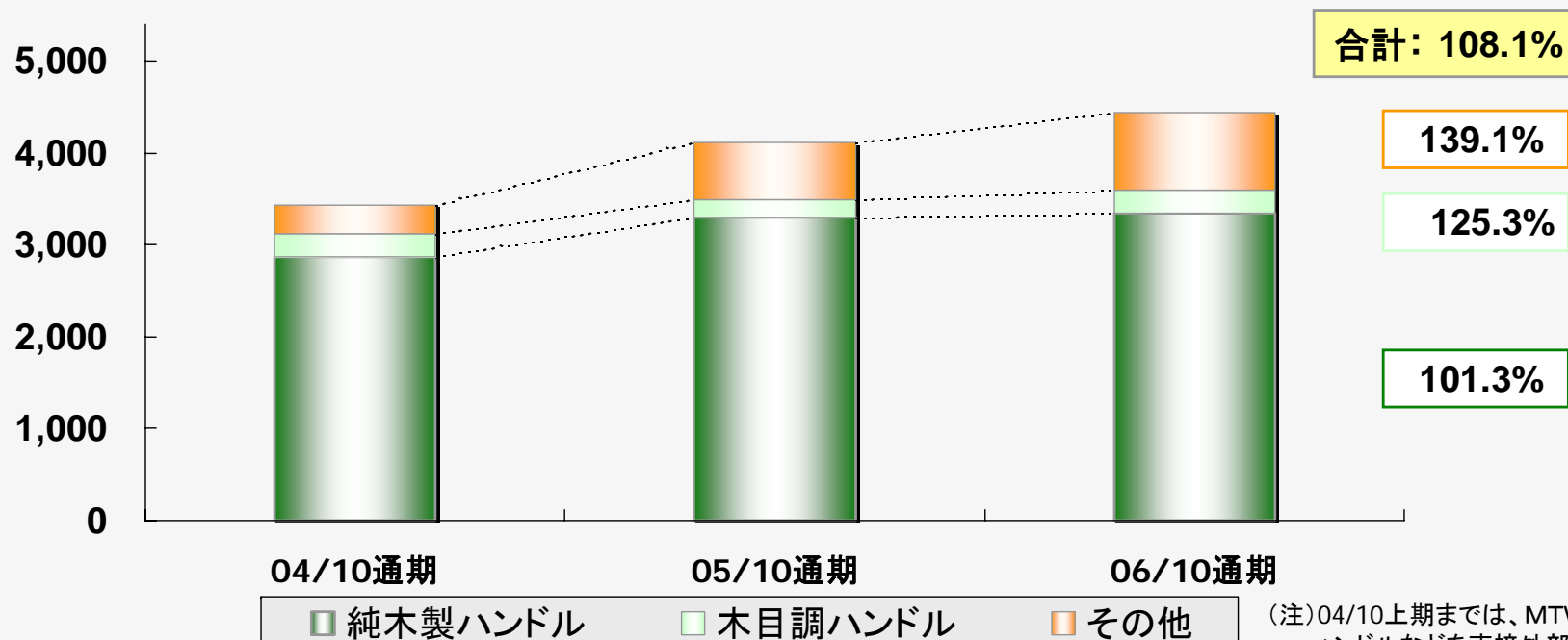
(百万円)

	05/10期 通期	06/10期 通期		内 訳			
				上期(05/11-06/4)		下期(06/5-06/10)	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
売上高	4,106	4,437	+331	2,186	+93	2,251	+238
営業利益	26	26	+0	13	▲1	13	+1

(百万円)

製品別売上高の内訳

前年比



営業外損益の状況

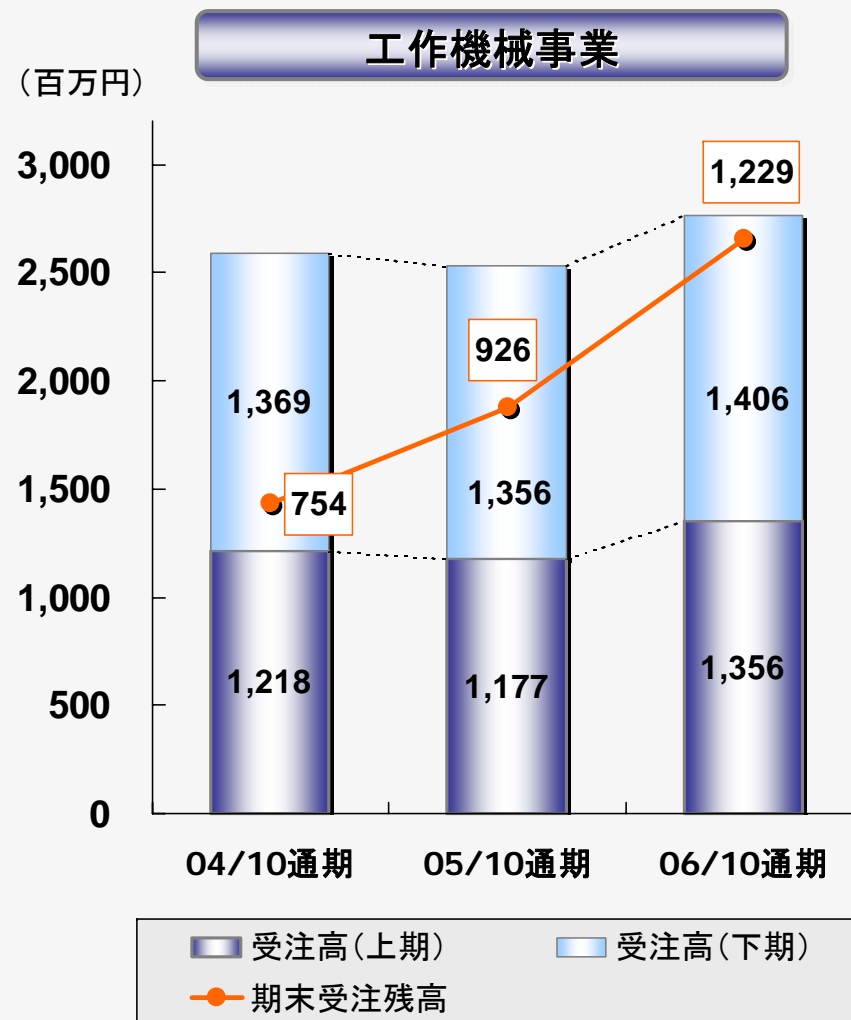
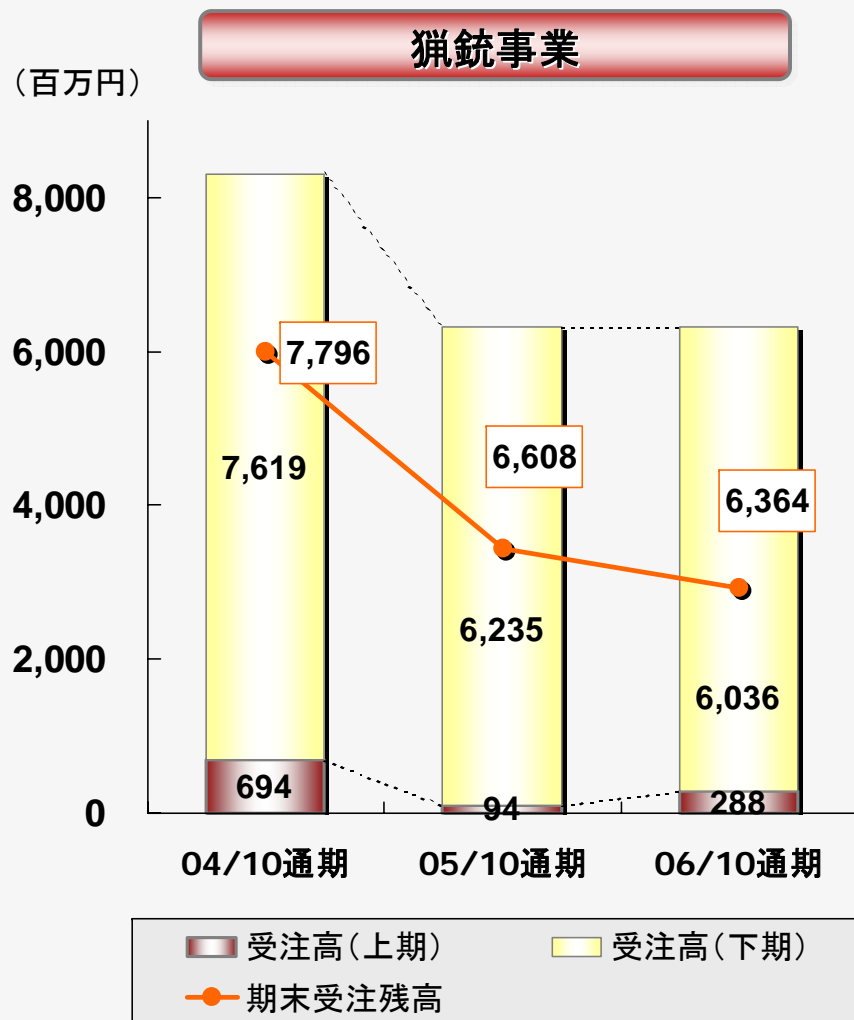
(百万円)

	05/10期	06/10期	
	(05年度)	(06年度)	前年比
営業外収益	323	317	▲6
受取利息・配当金	17	23	+6
持分法投資利益	247	218	▲29
その他	59	76	+17
営業外費用	43	42	▲1
支払利息	36	33	▲3
その他	7	9	+2
営業外損益	280	275	▲5

持分法適用関連会社： ミロクテクノウッド ミロク興産 特殊製鋼所 ニッサンミロク ミロクエ芸

以上5社

受注状況(猟銃事業・工作機械事業)



比較連結貸借対照表

(百万円)

	06/10末			06/10末	
		05/10末比較			05/10末比較
流動資産	6,392	+126	流動負債	5,533	+496
現金及び預金	925	▲11	支払手形・買掛金	2,249	+149
受取手形・売掛金	2,936	+191	短期借入金	1,800	±0
たな卸資産	2,203	▲131	1年以内償還予定社債	300	+300
有形固定資産	4,915	+626	固定負債	2,333	▲193
無形固定資産	91	▲17	社債	200	▲300
連結調整勘定	—	▲15	長期借入金	800	±0
投資その他の資産	3,757	+308	純資産	7,289	—
投資有価証券	2,631	+291	株主資本	6,909	—
			評価・換算差額等	368	—
			少数株主持分	10	—
資産合計	15,156	+1,043	負債、純資産合計	15,156	—

キャッシュフロー

(百万円)

	05/10期 (05年度)	06/10期	
		(06年度)	増減
営業キャッシュフロー	1,732	1,224	▲508
税金等調整前当期純利益	1,610	1,385	▲224
減価償却費	565	557	▲7
売上債権の増減額(▲:増加額)	874	▲191	▲1,066
たな卸資産の増減額(〃)	▲148	131	+280
仕入債務の増減額(▲:減少額)	▲332	148	+480
その他の	▲837	▲806	+31
投資キャッシュフロー	▲1,025	▲1,070	▲44
有形固定資産の取得(支出)	▲925	▲1,127	▲201
有形固定資産の売却(収入)	13	0	▲13
その他の	▲113	+57	+170
財務キャッシュフロー	▲309	▲165	+143
換算価額	0	0	▲0
現金及び現金同等物の増減額(▲;減少額)	398	▲11	▲410
現金及び現金同等物の期末残高	937	925	▲11

III.2007年10月期連結業績予想

業績予想(要約)

(百万円)

	06/10通期 (実績)	07/10通期	
		(予想)	前年比(%)
売上高	15,067	15,480	102.7
経常利益	1,398	1,300	92.9
当期純利益	874	820	93.8
設備投資	1,199	1,630	135.9
減価償却費	557	610	109.5

事業別セグメントの業績予想

(百万円、%)

		06/10期実績		07/10期予想			
		上期	通期	上期		通期	
					前年比		前年比
猟銃事業	売上高	3,517	6,823	3,490	99.2	6,640	97.3
工作機械事業	売上高	1,889	3,824	1,990	105.3	4,110	107.5
自動車関連事業	売上高	2,186	4,437	2,570	117.6	4,700	105.9
連結	売上高	7,603	15,067	8,060	106.0	15,480	102.7

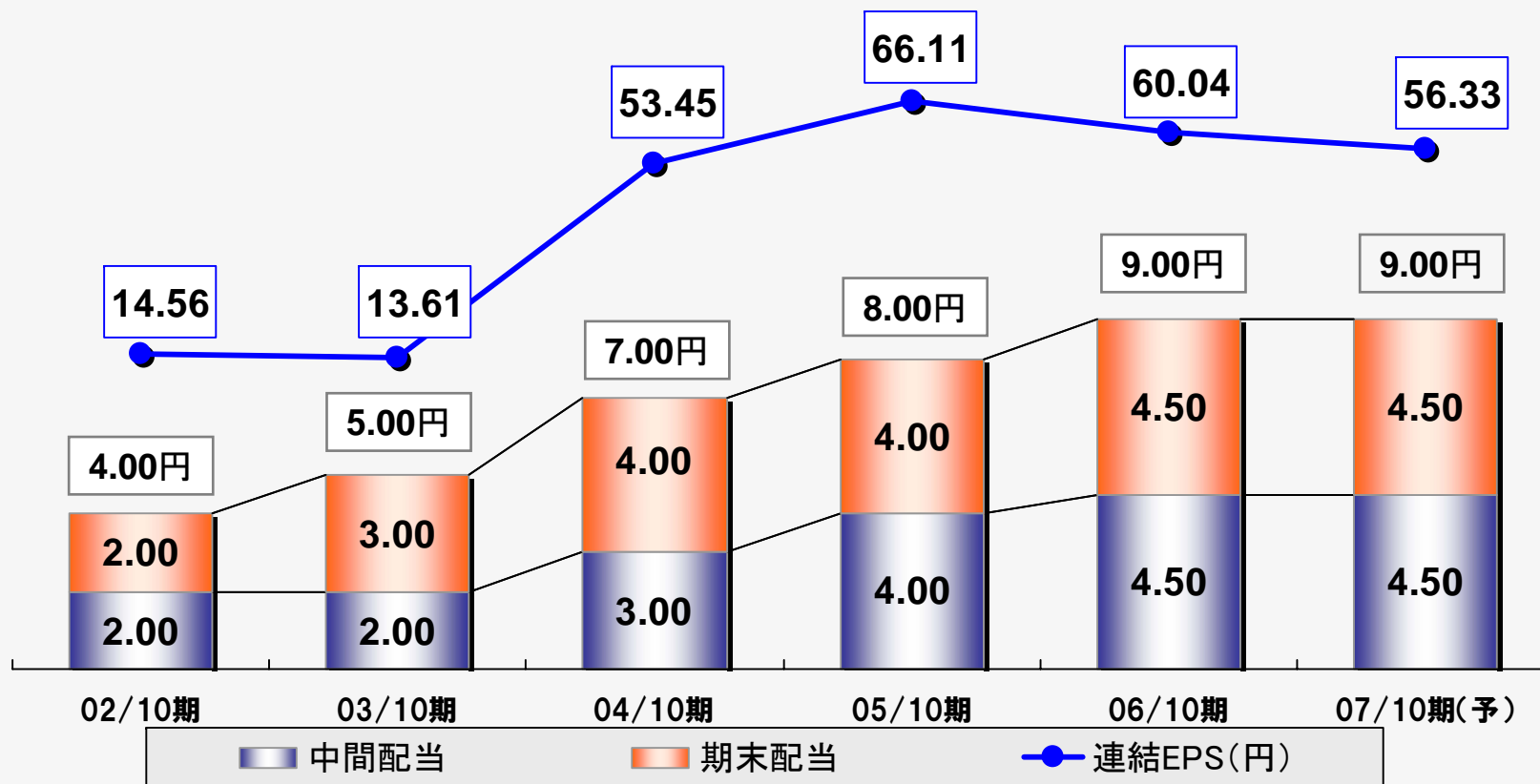
営業外損益に関する予想

(百万円)

	06/10期実績		07/10期予想	
	上期	通期	上期	通期
営業外収益	199	317	190	290
内、持分法投資利益	142	218	153	216
営業外費用	18	42	40	80
営業外損益	181	275	150	210

持分法適用関連会社： ミロクテクノウッド ミロク興産 特殊製鋼所 ニッサンミロク ミロク工芸
以上5社

1株当たりの配当金について



(百万円)

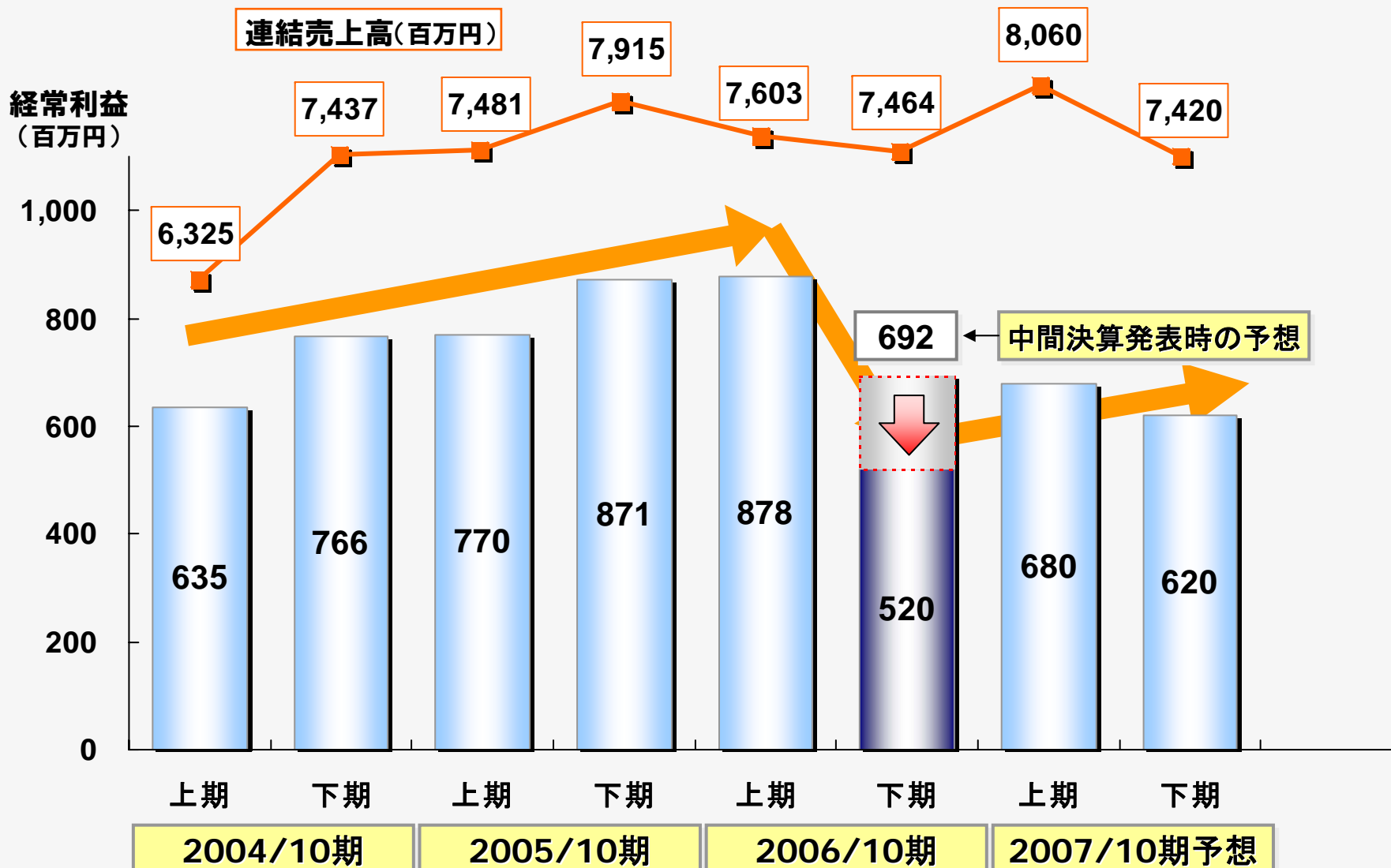
	02/10期	03/10期	04/10期	05/10期	06/10期	07/10期(予)
経常利益	601	934	1,401	1,641	1,398	1,300
当期純利益	210	216	825	1,028	874	820

IV. 今期の重点課題と当社の取組み

—本格的な成長ステージへの移行を目指して—

当社収益の現状に関して

利益拡大基調から一転減益、07/10期も厳しい見方をせざるを得ず



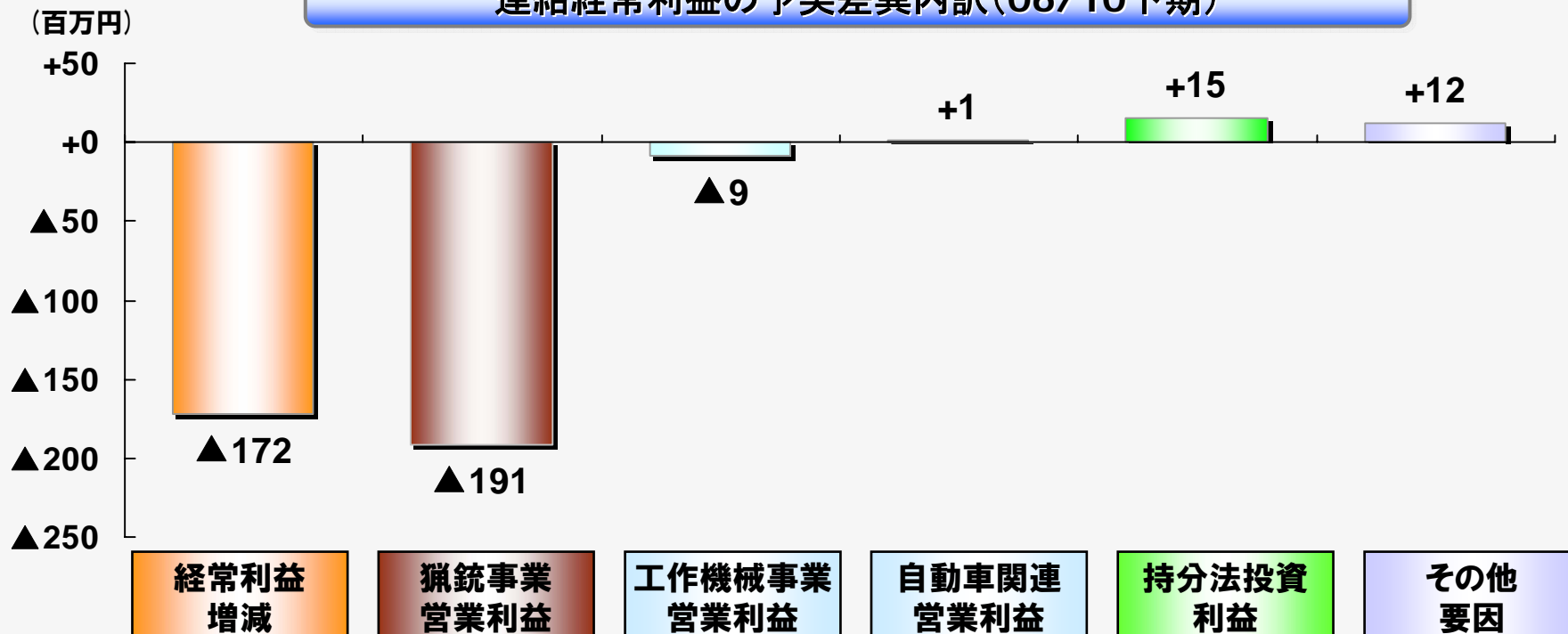
06/10下期減益の要因について

利益拡大基調から一転減益、主因は猟銃事業の減速

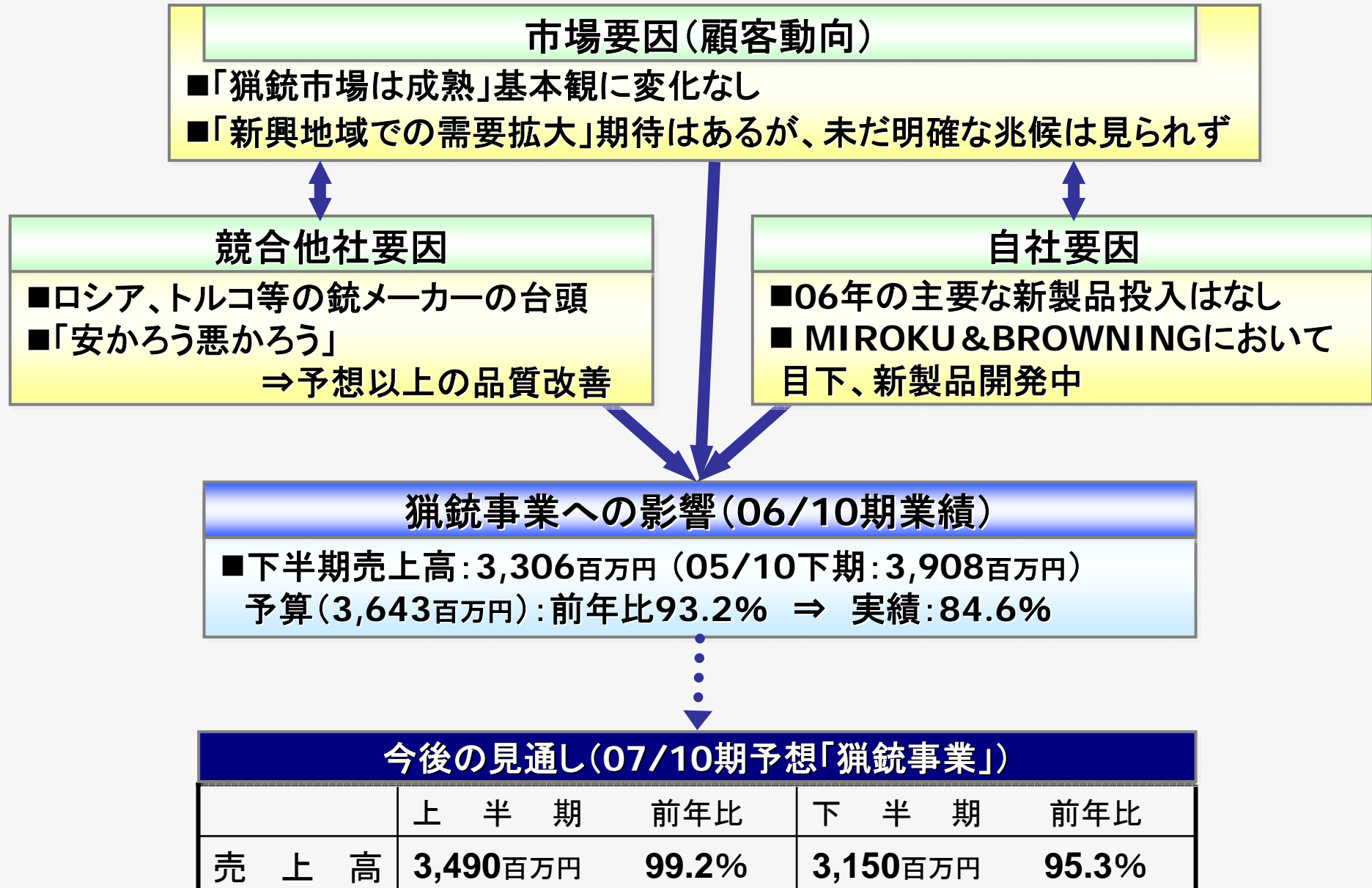
中間実績と通期予想
(2006.6.21中間決算発表時)



連結経常利益の予実差異内訳(06/10下期)



猟銃事業減速の要因と当面の業況について



事業環境のポイントと当社の課題

猟銃……MIROKUブランドの原点、適正利益確保

事業環境

- 購買意欲刺激による需要喚起が必要
- 品質格差縮小による競争激化

当社の課題

- 新製品開発・投入、スピードアップ
- 価格競争力の強化、付加価値の創出

工作機械……安定成長に必要な収益基盤

事業環境

- 当面、機械受注は好調だが、…

当社の課題

- 顧客基盤の拡大、収益構造の変革
- ツール、定盤の拡販、営業強化

自動車関連…グループ成長の牽引事業

事業環境

- 常に求められる価格対応力

当社の課題

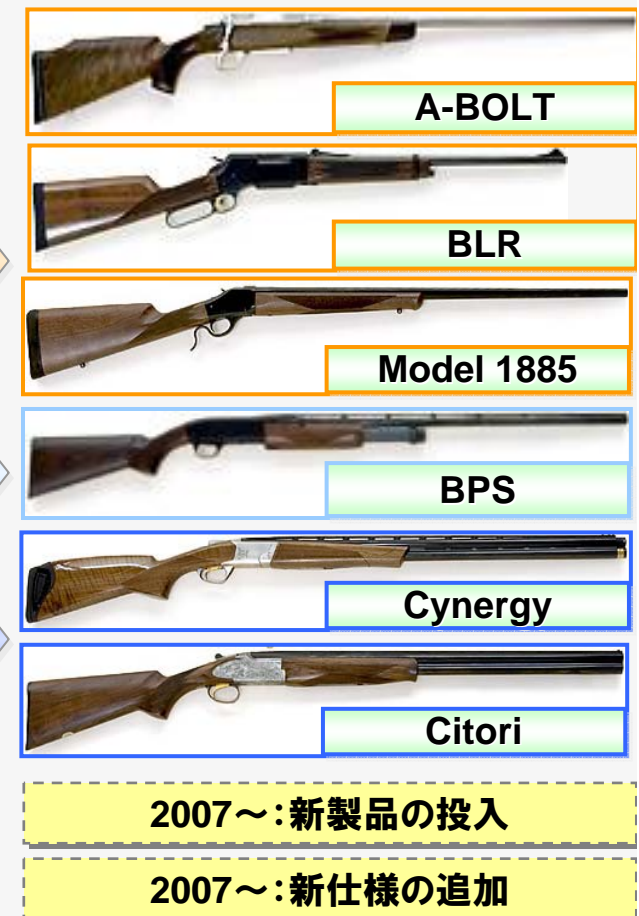
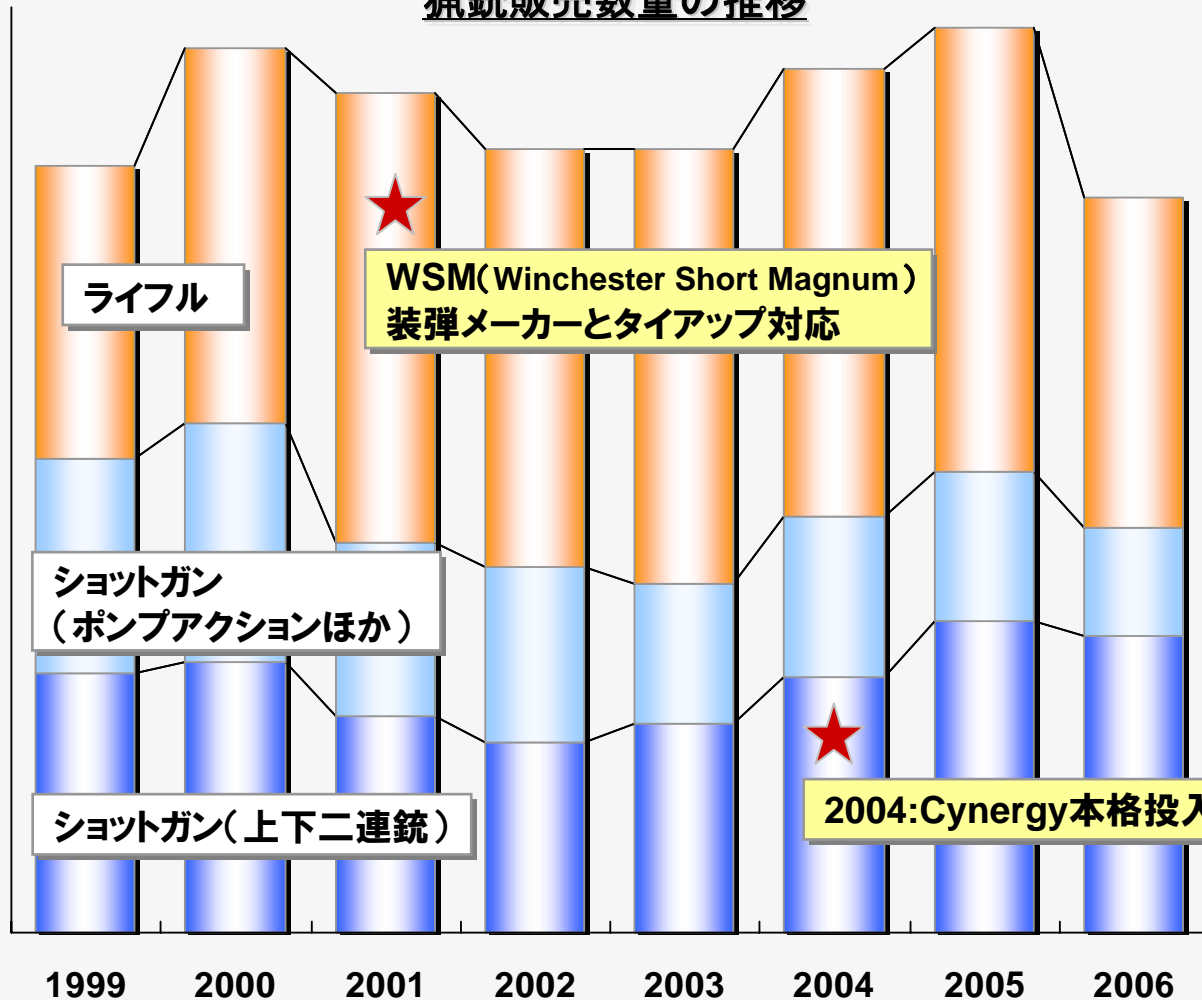
- 新製品開発・提案の強化
- 生産効率アップ、コストダウン

猟銃事業の取組み①:新製品開発、スピードアップ

新製品の投入、新仕様製品の追加の強力な推進

猟銃販売数量の推移

主力製品



MPI活動(*)による革新的コスト構造の確立

(*) : Miroku Production Innovation (ミロク生産革新活動)

“MPI-30”を4つのプロジェクトにて、積極的に推進中

MPI-30: 3年間で生産コストを30%削減or30%の付加価値アップを目標としたMPI活動

- I. 生産効率の革新的な向上
⇒ 直接製造原価率の低減
- II. 材料、外注費の削減
- III. 製品付加価値の向上
- IV. 間接部門の業務改善

グループ成長の下支え機能、安定成長力の更なる強化

I. ガンドリルマシンの海外展開の積極化

- ⇒北米・カナダ市場における日本メーカー現地法人への拡販
- ⇒東南アジア・中国市場での展開加速、販売ルート構築

II. 能力増強された、ツール・定盤の販売促進

- ⇒ツール(ドリル)の納期短縮、改良新製品の投入

III. 加工部門の受注力強化

ツール・定盤の能力増強

今期より、ツール・定盤ともに新工場での生産が開始

2006/5 定盤工場新設のため
土地・建屋を取得

2006/7
ツール生産設備の移設
(旧ツール工場⇒定盤工場用施設)

2006/7
ツール工場の増改築着工

2006/12
ツール工場の増改築完成

2007/1
ツール生産設備の移設
(定盤工場用施設⇒新ツール工場)

2007/1～
新工場でのツール生産開始

定盤……専有工場化による
生産能力と生産効率の引き上げ
ツール……増産対応のためのスペース拡張



2007/1
定盤工場(専有)工事着工

2007/3
定盤工場工事完成

2007/4～5
専有工場による
定盤の生産開始

成長の牽引事業として“守り”と“攻め”の活動を強化

I. 商品企画・開発・提案の強化

⇒素材、工法、デザインなどを含む企画の積極的提案

⇒研究開発設備の導入、積極的な活用

II. TPS(Toyota Production System)の更なる推進

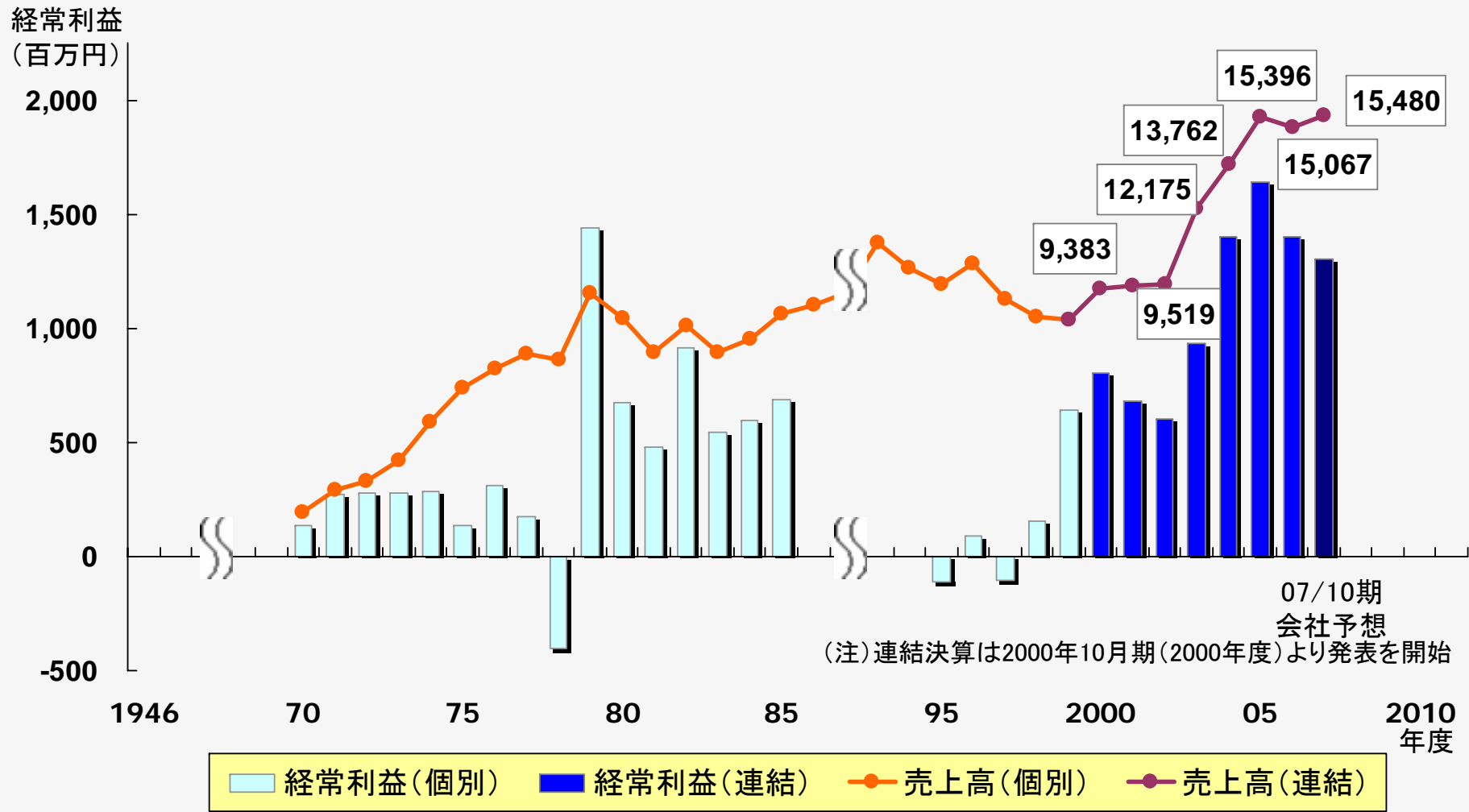
ミロクグループの成長戦略

戦略の基本は変えない、主力3事業を中核に成長を目指す

	戦略上の位置付け	事業部門のミッション
猟銃事業	<ul style="list-style-type: none">• MIROKUブランドの原点• すべての事業のバックボーン	市場プレゼンスの強化
工作機械事業	<ul style="list-style-type: none">• 安定成長に必要な収益基盤	バランスのとれた収益性・安定性・成長性の実現
自動車関連事業	<ul style="list-style-type: none">• グループ成長を牽引する事業	トップライン(売上)の成長

本格的な成長ステージへの移行を目指して

07/10期において成長ステージへの移行準備、活動計画を完遂





（ご注意）

本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。